

加太小学校だより



2022年
11月17日
No.14



<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kabuto/>

一人ひとりが輝いた音楽会

夕暮れも日ごとに早くなり、朝夕は肌寒さを増してきました。加太の山にも紅葉が広がり、秋の深まりを感じる今日この頃です。

11月8日には、亀山市小中音楽会が亀山市文化会館で開催され、全校児童でGReeeeNの「キセキ」を合唱しました。最初の頃、児童たちは、うまく音程やリズムがとれなかったり、クラッピングが合わなかったりして苦勞していました。中には歌詞をはっきりと歌うことが難しく自信をなかなか持てない児童もいました。そこで、聴く人に自分の歌声を伝える合唱にしようと、音楽の時間を中心に練習を積み重ねてきました。全校練習に入った頃には、5・6年生が「この部分の音程が少し合っていないな。」「このフレーズの出だしの言葉がはっきりせず弱いんじゃない。」「練習したらできてきたよ。」などと、他学年の歌声を聴きながらみんなで気づいたことを出し合うようになり、それらの気づきを全校に伝えながらみんなで合唱を作り上げてきました。

そして、本番。児童たちは、素晴らしい姿を披露しました。本番前の緊張感、ステージ上で一生懸命に歌う姿、座席に戻って来た時の安堵とともに充実した表情からも練習の成果を存分に発揮できたと感じました。この音楽会を通じて児童たちは皆、達成感を味わうことができたのではないのでしょうか。

音楽会に向け、努力を積み重ねてきた児童たち。心を一つにして成し遂げる素晴らしさを感じてくれたことと確信します。この自信が明日への活力となるよう、引き続き次の目標に向かって挑戦していきます。今後も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



～音楽会のふりかえりを紹介します～



〇こうがくねんはすごいなおもいました。わたしも大きくなったら「すごい」ってってもらえるようにがんばります。一ねんせいもすごかったです。らいねんの一ねんせいにおしえてあげたいです。

〇きんちょうしたけど、4・5・6年生がひっぱってくれてわたしのりにのってきんちょうがふきとびました。ほかの学校がわたしたちのほうをむいてきんちょうしました。ミックスナッツとげんかいとっぱサバイバーの曲をしっているけど、この曲むずかしいのにできていてすごかったです。

〇練習をしてうまくなっていることが自分でも分かった。みんながしんげんに歌ったり見たりしてしてくれたからがんばれた。最後までできてうれしかった。

〇合唱を始めたころは声が小さかったり歌がバラバラになったりしていたけれど、本番では全校が心をつにしてとても良い合唱にすることができてうれしかったです。本番では、練習の成果をはっきりと歌うことができました。他の学校の歌声がすごくきれいですごいなと思いました。来年もし音楽会があったら今年教えてもらった歌い方などを意識して歌いたいです。

〇最初よりみんながうまく歌うことができてうれしかった。最初はわからないところがあったけど、本番では最初から最後まで歌いきることができた。小学校最後の音楽会でしっかり歌うことができた。

音楽会の様子



みんなで「おはよう」&「ありがとう」を増やそう!

11月16日(水)から「おはよう」「ありがとう」を自然に言えるように全校で取り組んでいます。

挨拶に関しては、「あいさつタイム」を設定し、学級の友だちだけでなく、加太小学校全員に挨拶をすることを指しています。児童たちは、一人ひとりがみんなと挨拶を交わすことで自然に笑顔になっていました。中には、「あいさつするって楽しいな。」という声も聞こえてきました。人と人の心をつなぐ挨拶。これからも自分から気持ちの良い挨拶ができるように習慣化を図っていきます。

感謝の言葉「ありがとう」は、めったに無い、有り難い(ありがたい)、という言葉から来ています。対義語は「当たり前」だそうです。日々の何気ない生活の中にも、優しい言葉をかけてくれたり、助けてくれたりする友だちはもちろん、私たちを支えてくださる方々がたくさんいます。支えてくれることを当たり前と思うのか、支えてくれることをありがたいと思うのかで、周りに対する自分の言動は大きく変わってくるでしょう。「ありがとう」があふれる、温かな学校生活を築いていけるよう、今後も教育活動に力を入れてまいります。保護者・地域の皆様方の更なる御理解と御協力を、どうぞよろしくお願いいたします。